

## 第 42 期 4thQ 部会スピーチ

2015 年 1 月

### 『フロウエルの良いところと悪いところ』

フロウエルの強みと弱みを一人各一つずつ挙げてください。

中略

色々でましたね。私が採用選考面接で学生に自分の強みと弱みを聞くと、多くの学生が表裏一体の回答をします。例えば、「強みは思慮深く行動できます。物事を始める前に計画を立ててからとりかかります。弱みは、そのせいで始めるまでに時間がかかりチャンスを逸してしまうことがあります」というような感じです。つまり強みが同時に弱みにもなっているということですが、私が考えるフロウエルの強みと弱みも表裏一体です。強みは正社員が皆真面目で素直、理解力や受容力が高い結果、皆同じベクトルを取って事に当たる力があります。この強みを生かして企業理念や目標の意味を正しく理解し、受け入れて一致団結した行動が大きなプラスの力として作用していると思います。

反面、これらはすべて騙されやすいという特性を示すキーワードでもあります。理解力は高いけど洞察力が足りないです。洞察という能力は、少しヒネた性格の方が鍛えやすい力で、人の言うことを斜めに見ることができないと洞察力は養えません。素直で受容力の高い人は相手の言っていることを深く考察して真贋を暴くような能力に欠けているケースが多いです。

私が中学生の時の話ですが、Z というクラスメートが私に近づいてきて、A という男子生徒の悪口を言いました。そして私と一緒に A をシカトしようぜと勧誘してきました。私はもう一方のクラスメートである A のことも良く知っているので Z が言う程悪い人間ではないと感じました。良く考えてみても A から直接なにか迷惑行為を受けたことはないのですから、Z と同盟を組んで A と事を構える理由などありません。適当に相槌を打って Z を追い返した後、事の真相を洞察してみました。つまり Z は A に対して正面からぶつかっても自分が悪いと判断し、裏工作で第三者を巻き込んで、徒党を組むことによって A を精神的に追い詰めようと画策したわけです。Z は卑怯な男だと中学生の私は感じました。Z が言っていた悪口も完全な作り話かもしれませんし、部分的に本当の話が混ざっていても誇張されているかもしれません。良い悪いの判断は、立場が違えば逆転することが良くあります。Z の立場では悪いことでも他の人間にとっては A の行動が正しいということもあり得ます。そういった仮説をいくつか立てて総合的に検証してみるのも良い洞察方法です。この場合

はZの意見は既に聞きましたので、A側に立って仮説を作ってみます。Zが何か悪さをして、それがクラス全体の不利益につながる行為だったのでAがZに注意をした。Zは行為を止められたため自分の利益が得られなくなってAを恨んだ。というようなケースも有り得ますが、このような場合Zの意趣返しの片棒を担いで一緒にシカト攻撃に参加すると、私は自分のクラス全体のことを守ってくれたAへ恩知らずな事をしでかしてしまいます。そういう可能性もあるのを判断材料に加えて行動しないと、「本当は正しい人物」に失礼な態度を取ってしまう事になり、自分にとってもリスクがあると認識しなければなりません。つまり両方の立場に立って洞察し、可能な限り情報収集しないと本当の判断はできないのです。

ところが素直で受容力の高い人は、最初にインプットされる情報が正で、次から入ってくる反対の情報は誤りであると判断しやすい傾向を持っています。幸い私は中学生の頃からヒネた性格なので、Zから提供された情報にすぐ乗っかるようなことはありませんでした。この時もそうでしたが完全に両方の立場に立って双方の主張を聞いて吟味した後に判断するという事は大抵の場合難しいです。そういうときは状況証拠から洞察すればよいのです。この時の私の判断は、Zが明らかに卑劣な方法（多数派工作によるいじめ）をとった。だからZが悪だとなりました。

大切なのは真贋不明な話を感情的に受け入れず、冷静に俯瞰的に判断する力です。これがフロウエルのみなさんには足りていないように常々感じます。素直で受容力の高いという強みをそのままに、ガセネタに踊らされやすいという弱みを克服するよう今日の話は、頭の片隅に留めておいてください。

宜しく申し上げます。